

<発言者>

<項目・内容>

委員長

1 委員長挨拶

「私が来るまでの道中に、四季折々の花を見せてもらっている。色々な花を見て心が洗われている気持ちである。しかし、G7開催が目前に迫る中、総理の演説先での事件、広島での不審物騒ぎ等いろいろなことが起きており心配しているところである。島根県から派遣される職員は気を引き締めて任務に当たっていただきたい。また先日ラジオで、性犯罪事件の捜査で、薬物の使用を早期に判別できる検査キットが警視庁の全警察署へ配布されたと聞いた。これまでは尿検査など1ヶ月程度かかっていたものが早く判別でき、事件の早期解決につながっているとのことであった。それを考えたのが警察職員と聞き感心した。事件の早期解決のため、様々なことを考えながら仕事をしていることを大変頼もしく感じた。」旨の発言があった。

警察本部

2 議題

(1) 警察署協議会委員の委嘱

別添資料に基づき、「委嘱総員91人で、新規は34人、再任は33人、再々任24人であり、前回に比べて再々任が増加した。任期は2年間で、令和5年6月1日から令和7年5月31日までである。職業別の内訳は管内事業者等が一番多い。その他、学生や外国人の方もいる。男女比は男性45人、女性46人であり、前回と同数であった。年齢構成も平均年齢が57.8歳と前回と同じであった。」旨の説明があり、原案のとおり決定した。

委員

[意見]「新たに委員になれる方の意見を吸い上げる環境づくりが必要だと思う。」

委員

[意見]「外国人の委員には、発言しやすい環境をつくる配慮が必要だと思う。」

委員

[意見]「新たに委員になる方へは、警察の業務について説明をすることが必要だと思う。」

警察本部

(2) 警察職員等の援助要求

警察職員等の援助要求について説明があり、原案のとおり決定した。

警察本部

(3) 情報公開条例に基づく審査請求に対する裁決書(案)

情報公開条例に基づく審査請求に対する裁決書(案)について説明があり、原案のとおり決定した。

3 報告

(1) 令和5年度術科特別訓練員の指定

警察本部

「術科指導者の育成を図るとともに、術科の裾野拡大及び活性化に資することを目的に、令和5年4月1日から令和6年3月31日までの間、術科特別訓練員を指定する。訓練体制は、総員48人、柔道は監督以下11人、剣道は監督以下13人、逮捕術は監督以下13人、拳銃は監督以下11人である。活動状況として、指定式を令和5年4月11日に警察本部大会議室において開催した。全国警察術科大会を始めとする各種部内外の大会に出場する予定である。」旨の報告があった。

委員

[意見]「しっかり訓練し、成果を挙げてほしい。」

委員

[意見]「組織の中ではこういった役割を担っているのか。」

警察本部

[説明]「職員に対し術科の指導を行い、育成のサポートをしている。」

警察本部

[説明]「全国大会に出場し、良い成績であれば士気の高揚につながる。」

委員

[意見]「是非、頑張ってもらいたい。」

(2) 苦情の取扱状況（令和5年3月）

警察本部

苦情の取扱状況（令和5年3月）について報告があった。

(3) 令和5年度監察実施計画

警察本部

令和5年度監察実施計画について報告があった。

(4) SNSに起因する子供の性被害防止運動

警察本部

「SNSに起因する事犯の被害児童数については、全国では1,800人前後、島根県内では10人前後である。広報啓発対象の投稿については、児童の性被害につながるおそれのある投稿として、対面型は性交渉、対価交際、家出があり、非対面型として、児童ポルノ等の送信、下着の販売等があり、児童と思料される者による投稿、誘引していると思料される者による投稿がある。広報啓発の実施手順については、まずサイバーパトロールを行い、次に対象投稿を発見し、広報啓発メッセージの投稿を実施する。広報啓発状況は令和3年中の件数は33件であり、内訳は児童17件、誘引者16件であった。令和4年中の件数は、88件で児童20件、誘引者68件であり、倍以上増加している。効果については、広報啓発対象となった投稿の削除や非公開措置、投稿者によるアカウントの削除やツイッター社によるアカウント凍結措置が認められるなど、当該投稿の拡散抑止に一定の効果が見られた。今後の運用としては、令和5年度からは、少年女性対策課人

身安全第二係へも実施担当係を拡大し、更なる被害防止を推進する予定である。」旨の報告があった。

委員 [意見] 「しっかりサイバーパトロールを行ってほしい。」

委員 [意見] 「平成30年に県内の被害が多いのはなぜか。」

警察本部 [説明] 「条例違反事件の余罪である。」

委員 [意見] 「これは悪意ある大人の問題、それを自分で守れるかどうかの子供の問題である。子供や親に対して、危険なことに近づかないように教育する必要がある、これは警察の役目であると思う。」

委員 [意見] 「サイバーパトロールをしっかり行ってほしい。」

(5) 大麻取締法違反事件の検挙

警察本部 「被疑者2人は、大麻を含む植物片約1グラムを所持していたものであり、令和5年3月9日、大麻取締法違反の罪で通常逮捕した。また、大麻を含む植物片約2グラムを所持していたものであり、令和5年3月29日、大麻取締法違反の罪で再逮捕した。」旨の報告があった。

委員 [意見] 「子供のころから大麻は有害であることを教える必要があると思う。その教育を警察が行うことは効果的である。」

委員 [意見] 「大麻を売る人も求める人も、若い人が多いことを懸念している。学校において薬物乱用防止教室を行っており教育しているが、子供たちに判断力をつけさせないといけないと思う。」

委員 [意見] 「小さい時から薬物の怖さを教えていく必要がある。」

警察本部 [説明] 「小、中、高校生を対象にした薬物乱用防止教室を開催しているが、今後は、大学生や専門学校生に対する教育等も行っていきたいと考えている。」

委員 [意見] 「是非、学校に対して薬物乱用防止教室の開催を提案してほしい。」

(6) 新入学(園)期の交通事故防止運動の実施結果

警察本部 「新入学、入園期の交通事故防止運動を4月6日から15日までの10日間実施した。運動の重点、推進事項は、1つ目は新入学、入園児を始めとした子供に対する交通安全教育の徹底、2つ目は、通学、通園路における安全確保の推進、3つ目は、子供を守る思いやり運転の励行である。子供の交通事故防止に向けた主な取組として、新1年生への交通指導、反射材贈呈式、イベントでの講習等を実施した。自転車のヘルメット着用に向けた主な取組として、街頭広報や児童、生徒への講習、交通指導員講習会等を実施した。今後の予定として、自転車マナーアップ運動、春の全国交通安全運動を実施予定である。」旨の報告があった。

委員	<p>[意見]「地域を挙げて子供たちの交通安全を守る必要がある。」</p> <p>[意見]「この期間に行くことは効果的である。これからも継続してほしい。ヘルメット着用については、高校生が着用するかが課題であると思う。」</p>
委員	<p>[意見]「自転車の交通事故では、ヘルメットを着用していない人が多いようだ。命を守るものなのでしっかり着用してほしい。」</p>
警察本部	<p>(7) 島根スサノオマジックと共同制作したオリジナル反射材を活用した啓発活動</p> <p>「キラリ推進隊に委嘱している、プロバスケットボールチーム島根スサノオマジックをモチーフとした、オリジナル反射材を作成し、4月12日に松江市総合体育館において配布した。試合会場に設置された大型モニターと、試合のMC担当者によりオリジナル反射材を紹介するとともに、積極的な着用を促した。また、スサノオマジックのホームページで、本件配布活動が紹介された。オリジナル反射材を受け取った来場者の中には、その場ですぐに着用する人もあり好評であった。今後はリストバンドとは別のタイプの反射材の作成を検討中である。」旨の報告があった。</p>
委員	<p>[意見]「新たなタイプの反射材の作成も期待している。」</p>
委員	<p>[意見]「良い取組であると思う。」</p>
委員	<p>[意見]「子供たちには、流行のキャラクターの反射材が人気があるようだ。反射材は、命を守るものなので、しっかり着けてほしい。」</p>
警察本部	<p>4 話題</p> <p>令和5年度機動警察通信隊指名式及び通信対策訓練の実施</p> <p>令和5年度機動警察通信隊指名式及び通信対策訓練の実施について報告があった。</p>
本部長	<p>5 本部長総括</p> <p>「G7広島サミット開催が間近であるが、先日、和歌山県で爆発物投てき事件があり大変厳しい情勢である。会場については島ではあるが、広島という大きな都市での開催であり、空港が会場から遠いので警備上難しい面がある。そうした中で島根県警察から広島に派遣される部隊には、緊張感を持って対応してもらうとともに、残りの体制で県内の治安維持をしっかり行ってまいりたい。」旨の発言があった。</p>